

平成 24 年度

# 裾野市「事業評価」

関係資料

平成 24 年 8 月 21 日・30 日実施

裾野市企画部企画政策課

## 目 次

1.	事業評価実施に係る経緯	P 1
2.	実施方法	P 1
3.	体制	P 2
4.	対象事業	P 3
5.	評価方法	P 4
6.	実施日程	P 4
7.	事業調書	P 5
8.	資料（班編成・配置・スケジュール・チェック表）	P 2 2
9.	平成 24 年度事業評価対象事業一覧	P 2 8

## 1. 事業評価実施に係る経緯

第4次裾野市総合計画、第5次裾野市行政改革大綱が策定され、より一層の行政の簡素化・効率化とともに、中期財政計画を基本とした持続性のある健全な財政運営に向けた取り組みを展開しつつあります。

一方、リーマンショック以降の景気低迷により、日本経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。当市においても、市税の大幅な減収状態が続き、昨年を引き続いて交付団体となりました。

本年度予算編成においても、多額の財政調整基金を取り崩すなど、大変厳しい財政運営となっており、この状態を継続すると、数年で財政調整基金が底をつき、市民生活に急激かつ多大な影響をもたらしかねません。

この厳しい財政状況下においては、市民により必要とされているものは何か、公平性は保たれているか、無駄なものはないのか等の視点に立ち、選択と集中により効果的に投資するため、抜本的に事業内容を見直す必要があります。

近隣市町におきましては、有識者や市民の参加、あるいは市議会による事業仕分けが引き続き行われています。

昨年、裾野市ではこのような内外の情勢を勘案し、さまざまな立場の市民の代表である外部委員（裾野市行政改革推進委員会委員）による事業評価を実施し、事業の実施方針の決定と予算編成の一助といたしました。

諸事情が改善されない状況下において、事業の基本的な方針、実施方法等に係る意見をいただき、効率的かつ効果的な事業実施に結び付けるため、昨年を引き続き実施するものです。

外部委員による事業評価の実施は、行政評価、行政改革大綱の推進、機構改革などの内部手法とともに、効率的かつ安定的な行財政運営を図るうえで、特に市民目線での意見を伺うという点において、有意義なものです。

## 2. 実施方法

評価対象事業は、所属長からの意見を参考にして作成した企画政策課の素案を基に、市長が決定した10事業（14事務事業）です。

行政改革推進委員会委員10名が2班に分かれ、班ごとに事業担当部署から事業目的・実施方法等を説明します。質疑応答を行った後、事業に対する意見を取りまとめ、定められた区分により判定を行います。

会議は非公開とします。（委員が評価対象事業に関係する団体に所属している場合もあり、また市民の立場でもあることから、評価前に関係者からアプローチされることなどがないように、事業名を伏せ、意見を出

しやすい環境を整えます。)

事業評価の結果を受けた事業の実施方針については、結果を踏まえて市長が決定します。

#### <実施スケジュール>

	実施内容
7月	事業評価の実施に関する周知及び説明 (行政改革推進委員会、庁議メンバー、評価対象事業担当部課長) 事業評価シート(調書)記載依頼
8月	委員へ評価シート・参考資料を事前配布 追加資料の各課指示 事業評価(第1回 8月21日) 事業評価(第2回 8月30日)
9月	評価結果案の委員送付
10月	評価結果報告書の委員会最終確認(10月5日) 評価結果の市長報告 10月22日

#### <事業評価シートの提出>

事業担当部署は、行革推進委員会委員への事業概要説明資料となる別添の事業評価シートに記入し、期日までに企画政策課に提出します。

### 3. 体制

裾野市行政改革推進委員会

任期 H25. 3. 31

No	氏名	選出方法	班
1	菊田 祐一郎	区長会代表	A班
2	根本 年代	婦人会代表	A班
3	勝又 規雄	商工会代表	B班
4	渡邊 康一	商工会代表	B班
5	植松 一成	青年層代表	A班
6	塩川 友孝	労福協代表	B班
7	西山 捷一	社協代表	B班
8	勝又 美代子	教育層代表	A班
9	山口 郊治郎	学識経験者	A班(委員長)
10	渡邊 雄二	学識経験者	B班(副委員長)



- ①平成 24 年 8 月 21 日 平成 24 年度第 1 回会議 事業評価 1 回目
  - ・市の財政等の現状説明
  - ・事業評価対象事業及び評価方法の説明
- ②平成 24 年 8 月 30 日 平成 24 年度第 2 回会議 事業評価 2 回目
- ③平成 24 年 10 月 5 日 平成 24 年度第 3 回会議 取りまとめ
- ④平成 24 年 10 月 日 平成 24 年度第 4 回会議 市長報告

#### 4. 対象事業

##### 事業選定基準

事業評価の対象事業は、500 万円以上の事業費で、一般財源を主たる財源とする事業を企画政策課で抽出し、市長が決定した事業である。

評価 No	事務事業名	担当課	担当班
1	高齢者医療費助成事業	社会福祉課	A 班
2	保育園運営事業	こども教育課	A 班
	私立保育園運営事業	同上	
3	幼稚園管理運営事業	こども教育課	A 班
	裾野市私立幼稚園授業料等負担軽減事業費補助金	同上	
4	生涯学習センター管理事業	生涯学習課	B 班
5	学校体育施設開放運営事業	同上	B 班
6	市内公園等の維持管理事業	地域振興課	B 班
7	普通財産管理事業	地域振興課	A 班
8	区運営費補助事業	地域振興課	A 班
	分別収集奨励事業	生活環境課	
9	裾野市夏まつり補助事業	商工観光課	B 班
	観光振興事業	同上	
10	市営墓地事業	企画政策課	B 班



7. 事業調書

平成24年度 事業評価調書

担当部署 健康福祉部 部 社会福祉 課

事業名	大分類							
	小分類	高齢者医療費助成事業						
事業開始年度		平成 21 年度						
事業概要	事業の目的	高齢者が医療機関等で支払う医療費の自己負担分の一部を助成することにより、高齢者の医療に係る経済的負担の軽減を図るとともに、高齢者の福祉の増進に寄与すること。						
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	裾野市内に住所を有する後期高齢者医療制度の被保険者で、助成対象期間の翌年の1月1日に住民登録があり、その時点で市が徴収する保険料に滞納がない者が支払った医療費の一部を助成するもの。						
	実施内容と 事業費内訳	【市民への制度周知】 広報すその4.15、12.15掲載 各区に回覧用チラシ配布6月 医療機関にポスター掲出依頼6月 HP掲載3月 【事務員の確保】 申請の準備期間から事後処理までの期間の派遣1名 申請受付期間中は派遣7名追加 【申請の受付】 1月初旬～1月末 市役所402会議室にて受付 9:00-16:30 市内各支所にて1日半、期間中の日曜日の午前中に1回受付窓口開設 職員2名、派遣8名の10人体制で受付から手続き終了までをサポート 【受付後の事務処理】 書類記載の不備、領収書の計算誤り、口座確認等 口座振込み手続きに係る事務処理のための不備箇所等の確認・補完 【H24事業費予算】 需用費 160千円 消耗品・コピー使用 役務費 2,242千円 派遣事務員 扶助費 43,261千円 医療費						
		事業に係る 事務量	周知広報、契約手続、来客整理、申請受付、受付サポート、不備補完 支払手続、各種連絡調整					
			述べ 10人数					
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (予算額)	平成25年度 (見込額)	
	総事業費		17,432	29,762	33,633	45,662	45,662	
	国庫補助金							
	県補助金							
	起債							
	その他							
一般財源	0	17,432	29,762	33,633	45,662	45,662		
「その他」財源の内訳								
近隣市町の状況等	<p>近隣市町に同類事業を実施している自治体はない。(H23.11沼津・御殿場・長泉・清水)          高齢化や医療費の高額化が進む中で、事業継続する場合は事業経費(扶助費)の増大化が懸念される。一定の事業費で事業継続をする場合は所得制限や助成額の縮小化などが必要となることが考えられる。但し、所得制限をした場合には、基準の設定及び確認事務が新たに発生する。          なお、こども医療費の助成についての所得制限は設定されていない。</p>							

近隣市町の状況等には、裾野市の事業に対する取り組みについての担当課の見解も記載してください。



事業名	大分類						
	小分類	保育園運営事業					
事業開始年度		昭和 27 年度					
事業概要	事業の目的	児童の健全な育成支援を目的に、保育に欠ける児童を保育する為の保育所を整備、管理運営する。 社会情勢の変化に伴う保育ニーズに対応した供給体制を確保すると共に効果的、効率的な運営を図る。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	公立保育園5園の施設管理整備、給食実施、職員管理等運営を行う。 市内居住未就学児童で、保育に欠ける入園希望者の入園手続きを行う。 入園の許可を受けた保護者の保育料の賦課徴収を行う。					
	実施内容と 事業費内訳	・公立保育所運営費：104,352 [内訳] >給食用賄費・消耗品：56,165 >光熱水費・燃料費：14,930 >管理委託料：8,880 >賃借料：8,413 >一般消耗品費：7,407 >報償費：3,189 >手数料：2,869 >その他 ★公立保育園保育料：130,000 (園児数：約630人) 【その他事業費】 ・保育園職員給与費(39人分)：232,572 ・保育園臨時職員賃金(98人分)：247,963 ・公立保育所施設等整備費：10,738 ・委託児童負担金：35,000 ・私立保育園補助金及び委託金：101,428 ・別掲事業：315,000					
	事業に係る 事務量	入退園事務・保育料賦課徴収・給食管理、衛生指導・施設設備整備、管理 人事管理、職員研修・私立保育園補助、委託 <span style="float:right">述べ 3.6 人数</span>					
事業費 及び 財源内訳  (単位:千円)		平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (予算額)	平成25年度 (見込額)
	総事業費	571,844	572,094	563,860	567,735	584,887	585,000
	国庫補助金	31,549	25,174	25,648	24,134	21,649	24,000
	県補助金	22,373	26,713	23,498	24,573	22,481	24,000
	起債						
	その他	176,875	165,840	155,713	158,152	180,531	157,000
	一般財源	341,047	354,367	359,001	360,876	360,226	380,000
「その他」財源の内訳		保育料：130,000・一時保育負担金：2,760・受託児童負担金：40,000 災害共済負担金：158・雑入：7,613					
近隣市町の状況等		・特定財源のうち、国庫補助、県補助は、その他事業費の「私立保育園補助及び委託金」に充当 ・その他財源の内保育料は、平成21年度に各階層において一律2,000円軽減 ・国基準に対する軽減及び各市町の状況は別紙1					

近隣市町の状況等には、裾野市の事業に対する取り組みについての担当課の見解も記載してください。



事業名	大分類						
	小分類	私立保育園運営事業					
事業開始年度		昭和 51 年度					
事業概要	事業の目的	児童の健全な育成支援を目的に、私立保育園の健全で安定的な運営を支援するため運営費を負担する。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	私立保育園4園の保育の実施に対し、国の保育単価に応じて、国、県、市で保育所運営費として負担する。					
	実施内容と事業費内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立保育所運営費：315,000</li> <li>さくら保育園：約130,000（定員120+分園29）</li> <li>富岳台保育園：約90,000（定員90）</li> <li>富岳南保育園：約90,000（定員120）</li> <li>・国の保育単価による補助対象経費：173,000</li> <li>国（1/2）：86,500 県・市各（1/4）43,250</li> <li>★私立保育園保育料：94,000（園児数：約390人）</li> </ul>					
	事業に係る事務量	国庫、県負担金申請・交付・実績等					
							述べ 0.2 人数
事業費及び財源内訳 (単位:千円)		平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (予算額)	平成25年度 (見込額)
	総事業費	292,927	306,860	325,587	327,786	315,000	330,000
	国庫補助金	84,737	86,792	97,921	93,712	86,500	94,000
	県補助金	42,368	43,396	48,960	46,856	43,250	47,000
	起債						
	その他	98,088	91,148	90,153	95,855	94,000	96,500
一般財源	67,734	85,524	88,553	91,363	91,250	92,500	
「その他」財源の内訳		保育料：94,000（国基準一市軽減）					
近隣市町の状況等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育料の軽減額48,000千円と市負担分（1/4）43,250千円が一般財源</li> <li>・国基準に対する軽減及び各市町の状況は別紙1</li> </ul>					

近隣市町の状況等には、裾野市の事業に対する取り組みについての担当課の見解も記載してください。

事業名		大分類					
		小分類		幼稚園管理運営事業			
事業開始年度		昭和 30 年度					
事業概要	事業の目的	児童の心身の発達を支援することを目的に、未就学児童に教育の環境と場を提供し、幼児教育の充実を図る為、幼稚園を整備、管理運営する。 社会情勢の変化に伴う教育ニーズに対応した供給体制を確保すると共に効果的、効率的な運営を図る。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	公立幼稚園6園の施設管理整備、職員管理等運営を行う。 市内居住の3歳～5歳の児童で、幼児教育の希望者の入園手続きを行う。 入園の許可を受けた保護者の入園料、授業料の徴収を行う。					
	実施内容と 事業費内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立幼稚園運営費：40,155</li> <li>[内訳] &gt;設備、施設整備：13,500 &gt;一般、教材消耗品費：4,491</li> <li style="padding-left: 20px;">&gt;光熱水費・燃料費：5,014 &gt;管理委託料：3,410</li> <li style="padding-left: 20px;">&gt;賃借料：6,725 &gt;報償費：2,808 &gt;手数料：1,189 &gt;その他</li> <li>★公立幼稚園入園料、授業料：42,896 (園児数：約560人)</li> <li>【その他事業費】</li> <li>・幼稚園職員給与費(19人分)：129,727</li> <li>・幼稚園臨時職員賃金(49人分)：109,299</li> <li>・私立幼稚園就園奨励費補助：21,960</li> <li>・私立幼稚園運営費等補助金：4,132</li> <li>・別掲事業：17,921</li> </ul>					
	事業に係る 事務量	入退園事務・入園料、授業料徴収・施設設備整備、管理 <div style="text-align: right;">述べ 1.5 人数</div>					
事業費 及び 財源内訳  (単位:千円)		平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (予算額)	平成25年度 (見込額)
	総事業費	275,266	265,908	250,158	247,574	279,181	279,000
	国庫補助金	3,434	3,331	3,164	5,242	5,490	5,400
	県補助金						
	起債						
	その他	43,158	42,212	46,440	42,112	43,012	42,600
	一般財源	228,674	220,365	200,554	200,220	230,679	231,000
「その他」財源の内訳		・入園料、授業料：42,896 ・災害共済負担金：116 ※H20～H23年度の決算額には、繰入金、寄付金を含む					
近隣市町の状況等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定財源のうち、国庫補助は、その他事業費の「私立幼稚園就園奨励費補助金」に充当</li> <li>・その他財源の内授業料は、平成11年度から6,300円に変更(変更前：5,500)</li> <li>・各市町の状況は別紙2</li> </ul>					

近隣市町の状況等には、裾野市の事業に対する取り組みについての担当課の見解も記載してください。

事業名		大分類					
		小分類		裾野市私立幼稚園授業料等負担軽減事業費補助金			
事業開始年度		平成 22 年度					
事業の目的		<p>児童の心身の発達を支援することを目的に、私立幼稚園の健全で安定的な運営を支援する。</p> <p>特に、公立保育園との授業料等の格差を解消し、保護者の負担軽減を図ると共に私立幼稚園の入園児童の増加に繋げていく。</p>					
事業の対象 (誰を・何を・どこを)		市内の未就学児童が市内私立幼稚園に入園した場合に、私立と公立の授業料の差額分(9,700円/月)と施設整備分(2,000円/月)を保護者に対して補助する。但し、就園奨励費の補助残分を限度とする。					
事業概要		<p>・負担軽減補助事業(授業料分) : 11,633          私立授業料(16,000円/月) - 公立授業料(6,300円/月) = 9,700円          公私立差額(9,700円) - 就園奨励費補助(6,000円) = 3,700円          事業費 = 3,700円 × 12月 × 262人</p> <p>・負担軽減補助事業(施設整備分) : 6,288          事業費 = 2,000円 × 12月 × 262人</p>					
事業に係る事務量		補助金申請案内・受付・決定・交付・実績等					
		述べ 0.2 人数					
事業費 及び 財源内訳  (単位:千円)		平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (予算額)	平成25年度 (見込額)
	総事業費	—	—	15,895	18,098	17,921	
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他						
一般財源	0	0	15,895	18,098	17,921	0	
「その他」財源の内訳		当事業は、その他財源はないが、別事業の幼稚園授業料の変更により事業費、一般財源共に影響がある					
近隣市町の状況等		・公立幼稚園の3歳児クラスの待機児童対策として、本事業により私立幼稚園の入園児童数が増えていることから、一定の効果がみられる。					

近隣市町の状況等には、裾野市の事業に対する取り組みについての担当課の見解も記載してください。



事業名	大分類						
	小分類	生涯学習センター管理事業					
事業開始年度		平成 20 年度					
事業概要	事業の目的	市民の生涯にわたる学習活動を支援し、その学習活動を通じて地域活動の活性化を推進する施設の維持管理					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	生涯学習センターの施設					
	実施内容と事業費内訳	使用料 学習ホール（午前2,800円、午後5,700円、昼間8,500円、夜間5,800円、午後・夜間11,500円、全日14,300円） その他の会議室（学習室1、和室、調理実習室、団体活動室など条例に規定している。 ○事業費内訳（H24予算） ・報酬（運営委員） 120,000円 ・需用費（消耗品・印刷代等） 677,000円 ・需用費（光熱水費） 4,000,000円 （修繕一維持・物件） 1,650,000円 ・役務費（電話料・手数料） 1,210,000円 ・委託料（消防・電気・空調・給水などの施設維持・夜間受付窓口業務） 10,626,000円 ・賃借料（借地料等） 2,039,000円 ・備品購入費・貸付金（つり銭等） 150,000円					
	事業に係る事務量	業務委託の契約・正職員による輪番での昼間受付窓口業務 述べて 3 人数					
事業費 及び 財源内訳  (単位:千円)		平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (予算額)	平成25年度 (見込額)
	総事業費	15,865	20,947	18,707	19,396	20,472	20,472
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他	1,910	2,141	2,032	2,186	2,042	2,042
一般財源	13,955	18,806	16,675	17,210	18,430	18,430	
「その他」財源の内訳		・学習センター使用料 ・つり銭貸付金 ・自動販売機設置料 ・太陽光発電電気料					
近隣市町の状況等	別紙のとおり						

近隣市町の状況等には、裾野市の事業に対する取り組みについての担当課の見解も記載してください。



### 生涯学習センターの近隣市町の状況

市町	担当課	直営・指定管理の別	これからの方針	料金体系
小山町	生涯学習センター 0550-76-5722	直営	予定なし	大ホール(1,013席)午前10,000円、午後19,000円、夜間25,000円、全日54,000円 土・日・休日は、別料金 多目的ホール(300名) 午前3,000円、午後6,000円、夜間9,000円、全日18,000円 土・日・休日は、別料金
清水町	地域交流センター 972-6678	直営	予定なし	多目的ホール(350席)午前6,000円、午後8,000円、昼間14,000円、夜間8,000円、午後・夜間16,000円、全日22,000円
三島市	三島市民生涯学習センター 生涯学習係983-0881	直営	H23年秋、事業仕分けがあり結果は要検討でした。 現在、指定管理を導入するように検討しています。	多目的ホール(223平方メートル・椅子はなし)午前4,120円、午後4,530円、昼間8,650円、夜間4,940円、午後・夜間9,060円、全日13,590円

事業名	大分類						
	小分類	学校体育施設開放運営事業					
事業開始年度		昭和 54 年度					
事業概要	事業の目的	市民の生涯における各時期に応じた社会教育および社会体育活動の普及促進を図り、あわせて子どもの安全な遊び場の確保を図るため、学校教育に支障のない範囲内において、裾野市公立学校の施設の利用促進を図る。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	市内各小中学校の体育施設を社会体育施策として市民に開放する。					
	実施内容と 事業費内訳	市内14校、学校体育施設開放 月曜(祝日の場合は開放)、祝日の翌日以外 (平日 小学校:17時~21時 中学校:19時~21時、土日祝日9時~21時) 使用料 運動場(昼間無料、小学校夜間照明500円/1時間、 中学校夜間照明2000円/1時間) 体育館1面(午前中200円、午後300円、夜間500円) ○事業費内訳(H24予算) 賃金(管理指導員12人) 報償費(運営委員、調整会議5地区×6回) 需用費(消耗品、電気料、照明修繕ほか) 委託料(須山中、深良小管理委託) 工事請負費(学校関係施設工事) 貸付金(つり銭)					
	事業に係る 事務量	・学校との連絡調整、2ヶ月毎に調整会議開催、利用予約の受付 賃金・報酬支払い、施設修繕					
事業費 及び 財源内訳  (単位:千円)		平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (予算額)	平成25年度 (見込額)
	総事業費	12,013	12,619	9,460	9,398	10,489	6,000
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他	2,481	2,449	1,953	2,043	2,220	2,220
	一般財源	9,532	10,170	7,507	7,355	8,269	3,780
「その他」財源の内訳		使用料					
近隣市町の状況等		<ul style="list-style-type: none"> <li>管理指導員による開閉は沼津市のみ、その他の市町は利用者の自主管理方式(管理方式に細かな違いあり。詳細は別紙)</li> <li>自主管理方式メリット(経費節減、自治意識の向上)</li> <li>自主管理方式デメリット(施設施設、清掃、破損の確認が利用毎にできない)</li> </ul> 見解: リスクがあるため学校側からの慎重な意見もあるが、利用者の意識向上を図り全校に自主管理方式を導入したい。					

近隣市町の状況等には、裾野市の事業に対する取り組みについての担当課の見解も記載してください。

裾野市周辺市町の学校体育施設開放運営事業について

<1> 開放している学校数

御殿場市	16校
沼津市	41校
三島市	21校
小山町	8校
清水町	5校
長泉町	5校(うちグラウンドは4校)

<2> 施設の鍵の管理及び、開閉の方法

御殿場市	鍵は市内6支所にて管理し、利用団体が利用日に鍵を取りに来て開閉を行っている。翌日の定められた時間内に返却。
沼津市	各学校に管理指導員を置き、鍵の管理は管理指導員、鍵の開閉は利用団体が行っている。
三島市	鍵は各学校にて管理し、利用団体が利用日の定められた時間内に鍵を取りに行き、開閉を行っている。翌日の定められた時間内に返却。
小山町	登録団体に玄関横のポストの鍵を渡し、団体が利用時にポスト内の鍵で開閉を行っている。
清水町	清水町体育館で鍵を保管し、利用団体が利用日に鍵を取りに来て開閉を行っている。
長泉町	登録団体に体育館の鍵を入れてあるキーボックスの鍵を渡し、団体が利用時にキーボックス内の鍵で開閉を行っている。単発の使用団体(自治会や競技団体等)は、体育協会窓口で事前にキーボックスの鍵を受け取ってもらい、対応している。



事業名	大分類						
	小分類	区運営費補助事業					
事業開始年度		昭和 52 年度					
事業概要	事業の目的	区の自治組織の円滑な運営、意向の反映、及び市事務の周知連絡を図るため、予算の範囲内において補助金を交付する。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	市内85区へ区の運営のための補助金交付					
	実施内容と 事業費内訳	区に対して補助額は、1世帯につき1,540円とし、会社等の寮生については、4人を1世帯とみなし770円を交付する。これを前期5月と後期10月に分けて振り込む。					
	事業に係る 事務量	区補助金額調査（一般・外国人・独身寮世帯調査等）、区振込先調査、前年度決算資料調査、振込み手続き（前期・後期）					述べ 0.1 人数
事業費 及び 財源内訳  (単位:千円)		平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (予算額)	平成25年度 (見込額)
	総事業費	36,103	36,476	33,585	31,639	30,750	30,750
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他						
一般財源	36,103	36,476	33,585	31,639	30,750	30,750	
「その他」財源の内訳							
近隣市町の状況等		沼津市2,250円(均等割) +360円(世帯割) × 世帯数 清水町304,000円(均等割) +882円(世帯割) × 世帯数 御殿場市50,000円(均等割) +600円(世帯割) × 世帯数 小山町80,000円(均等割) +1,500円(世帯割) × 世帯数 +5,300円(班割) × 班数 +清掃車代 10,000円					

近隣市町の状況等には、裾野市の事業に対する取り組みについての担当課の見解も記載してください。



事業名	大分類						
	小分類	分別収集奨励事業					
事業開始年度		平成 13 年度					
事業概要	事業の目的	この要綱は、市内の家庭から排出される一般廃棄物の分別収集及び減量推進に伴う市指定ごみ袋の使用を促進し、並びに市が認定し区が管理している収集場所の良好な環境を保全するため、交付金を交付する。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	裾野市に居住し、住民基本台帳法により登録を受けている者が対象					
	実施内容と 事業費内訳	<p>この交付金は、各区のごみステーションの維持管理費などに利用していただき、良好な環境を保全していただくために交付するものです。</p> <p>この交付金の算出根拠は、9月末現在の世帯数に応じて交付しています。具体的には、世帯を単位としています。独身寮等の方については、4人を1世帯とみなし、1区の均等割り9,000円+280円×世帯数の計算で各区に交付しています。</p>					
	事業に係る 事務量	ごみ減量推進協議会総会開催、世帯数の確認事務、振込み口座の確認事務 口座振込み事務					
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (予算額)	平成25年度 (見込額)
	総事業費	6,638	6,685	6,676	6,683	6,383	6,400
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他						
	一般財源	6,638	6,685	6,676	6,683	6,383	6,400
「その他」財源の内訳		平成20年度～平成23年度は1世帯当りの単価が300円だが平成24年度予算から1世帯280円とする。					
近隣市町の状況等	<p>当市の交付金の目的とは多少異なり、また、事業対象や制度等は大きく違うが、類似の制度が近隣市町にありますので、以下要綱等を列記します。</p> <p>御殿場市資源回収奨励金交付要綱</p> <p>小山町資源リサイクル活動奨励金交付要綱</p> <p>沼津市ごみ減量・資源化推進協力店等制度実施要綱</p>						

近隣市町の状況等には、裾野市の事業に対する取り組みについての担当課の見解も記載してください。

事業名	大分類						
	小分類	市内公園等の維持管理事業					
事業開始年度		年度					
事業概要	事業の目的	公園施設の安全で良好な維持管理を行う (千福が丘中央公園・なかよし公園・むつみ公園・みはらし公園・呼子公園・水沢公園・杉の子公園・富士山麓村コミュニティー公園・富士山麓村調整池公園・青葉台上公園・青葉台中公園・青葉台下公園・南部公園・伊豆島田公園・中川公園・小柄沢緑地・葛山上城公園・天理町ポケットパーク等) 裾野駅西口・東口トイレの維持管理					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	都市公園の老朽化対策により安全で癒される施設の管理 (市内19公園) 裾野駅西口・東口トイレの維持管理					
	実施内容と 事業費内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良好な維持管理するにあたり、地域住民・利用者の関わりを含めた管理を進める</li> <li>・電気料金・水道料金等の光熱水費</li> <li>・公園管理として年間を通しての樹木剪定・草刈り・塵芥の収集</li> <li>・安全性確保のため専門業者による遊具の点検を行う</li> <li>・遊具の修繕費用・消耗品費用</li> <li>・裾野駅西口・東口トイレの清掃・消耗品費用</li> </ul>					
	事業に係る 事務量	破損等の対応・委託に関する契約・立会・完了検査 述べ 0.5 人数					
事業費 及び 財源内訳  (単位:千円)		平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (予算額)	平成25年度 (見込額)
	総事業費	16,680	15,672	15,357	13,797	18,226	15,000
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他						
一般財源	16,680	15,672	15,357	13,797	18,226	15,000	
「その他」財源の内訳							
近隣市町の状況等	公園管理に関しては他市町との比較は公園の規模・数が異なるため比較は難しい。清掃・草取りについては主に公益社団法人裾野市シルバー人材センターが管理を受託している。今後、地域住民の関わりを含めた管理を推進し、快適で安全な管理状態の維持を図る。						

・近隣市町の状況等には、裾野市の事業に対する取り組みについての担当課の見解も記載してください。



事業名		大分類					
		小分類	裾野市夏まつり補助事業				
事業開始年度		不明					
事業の目的		裾野市最大の観光振興事業（誘客イベント）であり、また市民、地域住民の夏の憩いの場、コミュニティーの場である「すその夏まつり」の補助を行う。また近年、地域住民の多様化により花火大会を市中心部で開催することは困難であるため、郊外の現会場である市運動公園にて実施するにあたり、その交通手段部分を助成するものでもある。					
事業の対象 (誰を・何を・どこを)		市民及び東部地域住民はじめ県内外観光客 裾野市夏まつり実行委員会（市観光協会、商工会、婦人会はじめ各種団体）					
事業概要		<p>すその夏まつり開催、運営に対する補助。</p> <p>補助対象としては、花火打上に関する費用、シャトルバス運営費用、夏まつり開催にあたる会場設備費、安全対策等に係る費用等に充当されている。</p> <p>第39回すその夏まつり（平成24年度）総事業費3,100万円</p> <p>主な支出予算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花火費1,200万円・会場設備費1,100万円（シャトルバス、安全対策費含む）</li> <li>・事務委託費150万円・予備費220万円（雨天対策等）</li> </ul>					
事業に係る事務量		補助金交付事務、会場手配、安全対策指導、支援					
		述べ 0.5 人数					
事業費 及び 財源内訳  (単位:千円)		平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (予算額)	平成25年度 (見込額)
	総事業費	22,000	22,000	19,800	9,405	17,870	17,870
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他						
一般財源	22,000	22,000	19,800	9,405	17,870	17,870	
「その他」財源の内訳							
近隣市町の状況等		<p>夏のイベントに関する近隣市町の補助状況。沼津市2,400万円、三島市2,500万円、長泉町1,800万円、御殿場市約1,600万円（財産区からの繰入金）を含む。</p> <p>平成20年度と比較し約20%の減額となっており、市補助金をこれ以上減額することは市民の期待を裏切るばかりでなく実行委員会や協賛企業の理解を得難い。安全対策関係費のことを含め実施困難となる可能性がある。近隣市町では中止に追い込まれた事業がある。</p>					

近隣市町の状況等には、裾野市の事業に対する取り組みについての担当課の見解も記載してください。



事業名		大分類						
		小分類	観光振興事業					
事業開始年度		年度						
事業の目的		裾野の魅力を全国に発信することにより、観光交流人口を増やし、地域の活性化を図る。						
事業の対象 (誰を・何を・どこを)		観光協会を核とし、観光情報の発信、観光交流マネジメント機能の強化を図る。						
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光パンフレット・観光マップ等の印刷 135万円</li> <li>・旅行雑誌等への広告掲載 観光PR広告掲載料 14万4千円</li> <li>・観光キャンペーン事業委託 70万円</li> <li>・観光キャンペーン等旅費 26万5千円</li> <li>・通行料金 1万円</li> <li>・観光案内所委託 48万円</li> <li>・フィルムコミッション推進委託 37万8千円</li> <li>・観光関連団体への負担金 12団体 194万4千円</li> </ul>						
事業に係る事務量		契約事務・ロケハン随行・支払い等庶務						
		述べ 0.5 人数						
事業費 及び 財源内訳  (単位:千円)		平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (予算額)	平成25年度 (見込額)	
	総事業費	5,288	5,391	4,957	5,105	5,271	5,271	
	国庫補助金							
	県補助金							
	起債							
	その他	55	52	64	62	60	60	
一般財源	5,233	5,339	4,893	5,043	5,211	5,211		
「その他」財源の内訳		カラー名刺販売 (100枚200円)						
近隣市町の状況等		<p>観光パンフレット等は、観光PRには必須のものであるため、各市町ともに定期的に増刷・内容更新の予算措置をしている。沼津市では緊急雇用事業(1800万、3名)を使い新規パンフレットを作成予定。</p> <p>観光キャンペーン事業は、御殿場市・小山町と合同でキャラバンを実施。</p> <p>フィルムコミッションは、小山町では支援室を作り直接実施。沼津市は商工会議所へ補助。</p>						

近隣市町の状況等には、裾野市の事業に対する取り組みについての担当課の見解も記載してください。

各市町の状況							
		御殿場市	三島市	沼津市	小山町	長泉町	裾野市
観光パンフレット等 印刷製本費		2,500,000	344,000	2,073,000 18,150,300	2,415,000	100,000	1,350,000
		<p>三島市は、緊急雇用事業で直接雇用者5名があるため、その事業費の中でパンフレットの作成も予定している。</p> <p>沼津市は、新規観光パンフレット作成のため、緊急雇用事業で3名を雇用し、人件費を含めて1800万の予算あり。</p> <p>当市としては、外国語の観光パンフレットがないため、検討したい。</p>					
キャンペーン事業	旅費	220,000	210,000	479,000	140,000	0	265,000
	その他				126,000		700,000
		<p>御殿場市は単独キャンペーンの旅費と使用料</p> <p>三島市は、緊急雇用の事業費の中からキャンペーンも予定している。</p> <p>小山町は法被や着ぐるみ等のクリーニング手数料がある。</p> <p>裾野市は観光キャンペーン事業を観光協会へ委託しているが、御殿場市・小山町と合同で観光キャラバンを行なっている負担金に充てられているため、必要経費と考えている。</p>					
観光案内所事業		0	2,954,000	14,076,600	816,000	0	480,000
		<p>御殿場市・長泉町は観光協会補助金に観光案内所運営費が含まれている。</p> <p>沼津市は3ヶ所の観光案内所委託の合計</p>					
フィルムコミッション事業		0	0	2,000,000	418,000	0	378,000
		<p>沼津市は商工会議所への補助</p> <p>小山町は支援室で直接実施</p> <p>裾野市は委託により実施。裾野市のPR手段として今後も実施したい。</p>					
広告費用		220,000	285,000	0	0	0	144,000
負担金		負担金は他市町と比較する対象ではないと判断し、調査していません。					
観光協会補助金		25,000,000		5,760,000	8,000,000	8,800,000	2,554,000
		<p>市町によって、観光協会運営補助金に事業費等を含めているものがあるため、観光振興事業費には入っていないが比較した。</p> <p>御殿場・長泉は観光案内所に対する事業費はないが、観光協会に対する補助額は当市を大きく上回っており、他市町においても当市よりも高額である。</p> <p>他の産業が下火となっている今、近隣市町を含め、全国的に観光に重点を置いている市町村が多くなっていることから、当市においてももう少し観光協会への支援を含め、観光振興事業に力を入れる必要があると考える</p>					



事業名	大分類						
	小分類	普通財産管理事務					
事業開始年度		昭和 年度					
事業概要	事業の目的	裾野市の所有する公有財産のうち、普通財産を管理、処分する。 市有財産は、行政目的をもつ公用又は公共用財産と、それ以外の普通財産に分かれるが、この普通財産について貸付等適正管理を行い、不用な物件については売払い等処分を行うことにより、市民に信頼される健全な財産管理運営を行う。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	市内土地44ヶ所、建物1ヶ所の貸付 他部署より用途廃止された財産の貸付、売払い等処分 市有林の管理 駐車場用地の借受と、互助会への貸付					
	実施内容と 事業費内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内土地44ヶ所、建物1ヶ所の貸付及び収納 有償貸付 24ヶ所 貸付料 800万円/年、無償貸付 21ヶ所 貸付先等) 警察、日赤、地区集会所、NTT、東電、教育協会、観光協会 開発行為地内旧道水路敷、ゴルフ場内旧道水路敷</li> <li>千福が丘集会所予定地等市内未利用地の草刈等維持管理</li> <li>市有林の内、須山・深良・久根・公文名・茶畑市有林への森林保険事務</li> <li>建設管理課より用途廃止により移管される、旧道水路敷地 (H13より随時 国より譲与された赤線、青線が主) の売払等処分</li> <li>駐車場用地の借受事務</li> </ul>					
	事業に係る 事務量	賃貸借契約更新、貸付料請求、収納、普通財産の売買等契約、収納、登記 草刈委託、森林保険契約、借受地の借受料支払 述べ 0.5 人数					
事業費 及び 財源内訳  (単位:千円)		平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (予算額)	平成25年度 (見込額)
	総事業費	11,908	6,062	5,924	8,566	5,947	5,947
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他				441		
一般財源	11,908	6,062	5,924	8,125	5,947	5,947	
「その他」財源の内訳		H20年度 14,581千円、H21年度 50,617千円、H22年度 29,790千円、H23年度 20,790千円そしてH24年度は現在82,137千円の財産売払により一般会計で 収入している。					
近隣市町の状況等		平成19年の地方自治法の改正により、現在行政財産の貸付規定の弾力化が図られて おり、今まで普通財産化しなければ貸出すことができなかったものも、行政財 産の範疇において貸出す事ができるようになった。現在、普通財産として貸出し ているものの多くが行政財産として貸出ができるようになり、貸出財産の再整理 が必要。また、行政財産の未利用地等があれば、積極的な有効利用を指導してい く予定。					

近隣市町の状況等には、裾野市の事業に対する取り組みについての担当課の見解も記載してください。



事業名	大分類						
	小分類	市営墓地事業					
事業開始年度		18年度					
事業概要	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の福祉向上のため、優良な墓地を整備し、販売、管理を行う。</li> <li>・整備した墓地区域の良好な環境を保全するとともに、健全で安定的な墓地経営を行う。</li> </ul>					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	市内に1年以上居住する住民で、墳墓を有さない者に墓地区画を販売。 墓地使用者に管理料の請求手続きを行う。 墓地使用者の台帳登録、変更などの記録管理を行う。					
	実施内容と事業費内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深良地先に約2000区画の墓地を整備する計画で、1号及び2号墓域を整備し、平成24年度で倍区画(6㎡)の2区画を除いて、販売を完了した。</li> <li>・現在までの販売価格は、3㎡タイプ43万円、6㎡タイプ86万円</li> <li>・管理料は、1年あたり3㎡タイプ5,000円、6㎡タイプ10,000円。</li> <li>・墓域は第9号墓域まであり、3号墓域以降は区画割り工事未着手である。</li> <li>・区画の利用者は、全区画抽選によって決定した。</li> <li>・水道は、井戸を設置しているが、飲料水とはしていない。</li> <li>・管理棟は後年度整備とし、仮設トイレを設置している。</li> <li>・管理内容は、共用部分の草刈り、清掃、トイレ清掃、消耗品の補給等。</li> </ul>					
	事業に係る事務量	墓地台帳記録更新、管理料請求、収納、墓石建立工事届け出受理、着工前立会、完了検査等					
							述べ 0.5人数
事業費及び 財源内訳  (単位:千円)		平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (予算額)	平成25年度 (見込額)
	総事業費	164,805	218,751	398,760	150,107	26,400	56,400
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債			167,300	105,500		
	その他		12,395	237,360	11,200	7,966	30,000
	一般財源	164,805	206,356	-5,900	33,409	18,434	26,400
「その他」財源の内訳		平成21年度はの12,395は、立木売却収入。平成22年度237,360は墓地販売収入。平成23年度11,200は納骨堂建設に伴う一般会計繰入金。					
近隣市町の状況等		総事業費の見込みは、一般会計の期間を含めて約11億8千万円。平成22年度から墓地事業特別会計を設けた。平成23年度から墓地販売収入は一般財源としている。 県内に墓園はあるが、区画数、管理体制等が大きく異なるため、比較困難。 平成23年度、24年度は工事費を計上せず、計画を再検討することとしている。 ※平成22年度の収入が支出を上回っているのは、繰越事業費を含む起債となっているため。					

近隣市町の状況等には、裾野市の事業に対する取り組みについての担当課の見解も記載してください。

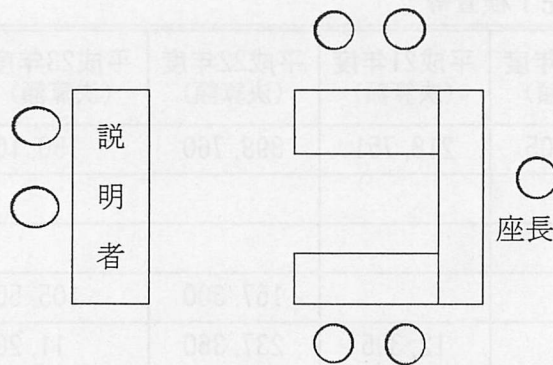
8. 資料（班編成・配置・スケジュール・チェック表）

班編成

A 班	B 班
ヤマグチ コウジロウ 山口 郊治郎	ワタナベ ユウジ 渡邊 雄二
キクタ ヌウイチロウ 菊田 祐一郎	カツマタ ノリオ 勝又 規雄
カツマタ ミヨコ 勝又 美代子	ニシヤマ ショウイチ 西山 捷一
ネモト トシヨ 根本 年代	ワタナベ コウイチ 渡邊 康一
ウエマツ カズナリ 植松 一成	シオカワ トモタカ 塩川 友孝

配置

傍聴者	傍聴者	傍聴者	傍聴者
-----	-----	-----	-----



事務局

平成24年度事業評価実施スケジュール

		A班 1日目			
総括		委員		説明者	備考
		内容	会場		
13:30	開会	委員長挨拶・説明		別室待機	
13:40	事業説明	高齢者医療費助成事業		社会福祉課	15分以内
13:55	質疑応答	質疑		401 (西側)	応答
14:00					
14:20	結果まとめ	まとめ		401東側待機	20分程度
14:40	休憩				
14:50	事業説明	保育園運営事業 私立保育園運営事業		401 (西側)	こども教育課
15:00		15分以内			
15:05	質疑応答	質疑		401 (西側)	応答
15:30	結果まとめ	まとめ			
15:50	休憩				
16:00	事業説明	幼稚園管理運営事業 裾野市私立幼稚園授業料 等負担軽減事業費補助金		401 (西側)	こども教育課
16:15		15分以内			
16:40	質疑応答	質疑		401 (西側)	応答
16:40	結果まとめ	まとめ			
17:00					



平成24年度事業評価実施スケジュール

		B班 1日目			
		委員		説明者	備考
		内容	会場		
13:30	総括				
13:30	開会	委員長挨拶・説明		別室待機	
13:40	事業説明	生涯学習センター管理運営事業	402	生涯学習課	15分以内
13:55	質疑応答	質疑		応答	25分程度
14:00	結果まとめ	まとめ		401東側待機	20分程度
14:20					
14:40	休憩				
14:50	事業説明	学校体育施設開放運営事業	402	生涯学習課	15分以内
15:00	質疑応答	質疑		応答	25分程度
15:05	結果まとめ	まとめ		401東側待機	20分程度
15:30					
15:50	休憩				
16:00	事業説明	市内公園等の維持管理事業	402	都市計画課	15分以内
16:15	質疑応答	質疑		応答	25分程度
16:40	結果まとめ	まとめ		401東側待機	20分程度
17:00					

平成24年度事業評価実施スケジュール

		A班2日目			
総括		委員		説明者	備考
		内容	会場		
13:30	開会	委員長挨拶・説明		別室待機	
13:40	事業説明	普通財産管理事業		総務管財課	15分以内
13:55	質疑応答	質疑	401 (西側)	応答	25分程度
14:00					
14:20	結果まとめ	まとめ		403待機	20分程度
14:40	休憩				
14:50	事業説明	区運営費補助事業 分別収集奨励事業		地域振興課 生活環境課	15分以内
15:00	質疑応答	質疑	401 (西側)	応答	25分程度
15:05					
15:30	結果まとめ	まとめ		403待機	20分程度
15:50	休憩				
16:00	結果報告	1日目の結果報告説明		事務局	10分程度
16:10	意見交換 及びまとめ	委員からの質疑等		応答	15分程度
16:25	結果報告	2日目の結果報告説明	401 (西側)	事務局	10分程度
16:35	意見交換	委員からの質疑等		応答	15分程度
16:50	結果まとめ	まとめ			30分程度
17:20					

平成24年度事業評価実施スケジュール

		B班2日目			
総括		委員		説明者	備考
		内容	会場		
13:30	開会	委員長挨拶・説明		別室待機	
13:40	事業説明	裾野市夏まつり補助事業 観光振興事業		商工観光課	15分以内
13:55	質疑応答	質疑	401 (東側)	応答	25分程度
14:00					
14:20	結果まとめ	まとめ		403待機	20分程度
14:40	休憩				
14:50	事業説明	市営墓地事業		企画政策課	15分以内
15:00	質疑応答	質疑	401 (東側)	応答	25分程度
15:05					
15:30	結果まとめ	まとめ		403待機	20分程度
15:50	休憩				
16:00	結果報告	1日目の結果報告説明		事務局	10分程度
16:10	意見交換 及びまとめ	委員からの質疑等		応答	15分程度
16:25	結果報告	2日目の結果報告説明		事務局	10分程度
16:35	意見交換	委員からの質疑等			
16:50	結果まとめ	まとめ			30分程度
17:20					



事業評価チェック表（評価委員用）

下表は、ご自身のメモ等として、ご自由にご利用ください。

（□の中にレ点を記入してください）								
1. 事業の必要性	□	□	□	□	□			
	大変必要性がある	必要性がある	どちらかと言えば必要である	どちらかと言えば必要ない	必要ない			
2. 事業の公平性	□	□	□	□	□			
	大変公平である	公平である	どちらかと言えば公平である	どちらかと言えば公平でない	公平でない			
3. 事業の効果	□	□	□	□	□			
	大変効果がある	効果がある	どちらかと言えば効果がある	どちらかと言えば効果がない	効果がない			
4. 改善の余地	□	□	□	□	□			
	改善の余地（大）	改善の余地（小）	実施方法の変更	他の事業に統合	改善の必要がない			
総合評価	見直し							
□	□	□	□	□	□	□	□	
①廃止	②休止	③大幅な縮小（部分廃止含む）	④小幅な縮小	⑤実施方法の変更	⑥他の事業に統合	⑦継続 現行どおり	⑧継続・ 充実・拡大	
		併せて 方法変更・事業統合						

9. 平成24年度事業評価対象事業一覧

(単位:千円)

評価 No.	事業 No.	事務事業名	所管部署	検討事項・観点	事業概要	新規 継続	事業費	財源内訳					事業費 H23	対前年増減
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
1	90	高齢者医療費助成事業	社会福祉課	助成の額、所得制限などの考え方	高齢者の医療費自己負担の一部助成	継続	45,662					45,662	52,846	△ 7,184
2	123	保育園運営事業	子ども教育課	保育料水準の適正化・他市町との比較	保育園での集団生活をより良くするための保育内容の充実・給食の管理運営を行う	一部将来	584,887	21,649	22,481		180,531	360,226	567,735	17,152
	125	私立保育園運営事業		(保育料に連動)	私立保育園の運営に対して扶助する	継続	315,000	86,500	43,250		94,000	91,250	315,000	0
3	148	幼稚園管理運営事業	子ども教育課	公立幼稚園と私立幼稚園の授業料の差額を補助。	幼稚園施設の維持管理等(人件費含む)	継続	279,181	5,490			43,012	230,679	247,574	31,607
	147	裾野市私立幼稚園授業料等負担軽減事業費補助金		148の授業料の見直しとセット。	私立幼稚園の保護者の経済的負担を軽減するため授業料・施設設備費を補助する。	継続	17,921					17,921	19,188	△ 1,267
4	189	生涯学習センター管理事業	生涯学習課	利用方式、利用料、管理形態の検討	生涯学習センターの維持、管理に要する	継続	20,472				2,042	18,430	23,030	△ 2,558
5	238	学校体育施設開放運営事業		開放の管理運営方法(市民協働)	市内各小中学校の体育施設を社会体育施策として市民に開放する	継続	10,489				2,220	8,269	11,965	△ 1,476
6	267	区運営費補助事業	地域振興課	区に対して交付される補助金、交付金の在り方(一括交付による区の自由度を高める等の観点で)	自治会組織・活動の充実	継続	30,750					30,750	32,231	△ 1,481
	295	分別収集奨励事業	生活環境課		一般廃棄物の分別収集等のため市指定ごみ袋使用を促進し、良好な環境保全のため交付	継続	6,383					6,383	6,392	△ 9
7	366	市内公園等の維持管理事業	都市計画課	維持管理の効率化、適正化(市民協働)	都市公園等の維持管理に係る事務費・管理業務委託	継続	18,226					18,226	14,340	3,886
8	478	裾野市夏まつり補助事業	商工観光課	H22、23の実施内容と事業の位置づけ	すその夏まつりの運営補助事業	継続	17,870					17,870	18,810	△ 940
	485	観光振興事業		事業内容と効果	観光振興事業、各種観光関係負担金の支出	継続	5,271				60	5,211	5,271	0
9	505	普通財産管理事業	総務管財課	市有財産全体の利活用、処分の推進等	市有地、市有林管理、土地の借上げ等	継続	5,947					5,947	6,030	△ 83
10	—	市営墓地事業	企画政策課	全体事業計画、市外者への販売開始、価格設定等	市営墓地の整備、管理運営	継続	26,400				7,966	18,434	209,000	△ 182,600